

北郷小と緑ヶ丘小五年生でひとめぼれを刈り取り

九月二五日から二八日までの四日間、東京都目黒区の緑ヶ丘小学校（稲田正克校長）の五年生三十九名が北郷小学校（渡邊美代子校長）五年生と農業体験学習を行いました。

角田市と目黒区は先祖が縁で相互援助協定を結ぶ友好都市で、緑ヶ丘小学校が角田市で農業体験学習を行うのは今年で五年目、今回は稲刈り作業を体験しました。



角田市内の小中学生と目黒区の小中学生が米づくり体験で交流

両校は北郷小学校の南側、三〇アールの水田を「総合学習田」として、おとしから、JAみやぎ仙南角田地区青年部の稲作指導と栽培管理をもらいながら米づくり体験をしており、今年は一とめぼれを作付けしました。

今年一とめぼれは生育期間中天候に恵まれ子供たちが植えた稲はすくすくと育ち、元気な稲に育ちました。

稲刈り当日、今にも雨が降ってきそうな中稲刈りを始めましたが、始まってまもなく大粒の雨が降り始めてしまい、子ども達は稲を三株ほど刈り取ったところで、稲刈りを中止しました。次の日、小学校に帰る日に、意地悪する天気も子ども達の悔しさに負け、天候が回復したため、コンバインでの刈り取りでしたが出発時刻を遅らせ刈り取りを見学しました。

前日の悔しさも忘れコンバインの刈り取る速さに子どもたちも絶叫、角田の広い田園風景と緑を目に焼き付かせみんな笑顔で元気に東京に帰って行きました。



刈り取ったぞ！！

西根小では月光原小五年生と刈り取り

十月八日から十日までの三日間、東京都目黒区の月光原小学校（島田昇校長）の五年生五一名が西根小学校（高橋裕司校長）五年生と西根地区子ども会育成会（目黒裕治郎会長）の指導を受けながら一五アールの水田を「総合学習田」として農業体験学習を行いました。

月光原小学校が角田市で農業体験を行うのは今年からで、春は五月十五日に西根小学校の生徒と月光原小学校の先生方で田植えを行い、今回は月光原小五年生が加わり稲刈り体験をしました。



今年作付けしたのは「みやこがねもち」です。

稲刈りがはじまってからまもなく雨が降ってきてしまい、どろんこになりながらも約一時間ほどで刈り取りを無事終えることが出来ました。刈り取りが終わる頃には、抜かるんでしまい、土に足がはまって抜け出せなくなったり子どもが続出しましたが、雨にも負けず自然を肌で感じながら、刈り取った喜びを体験しました。

稲刈りの翌日は、西根小学校の自転車置き場に干していた稲をコンバインでの脱穀作業をしました。機械での脱穀を見るのははじめての生徒も多く、干していた稲を流れ作業でコンバインまで手渡ししながら、手伝っていました。来年度から、月光原小学校では春の田植え、秋の稲刈り体験を本格的に取り組んでいきます。

